

山薑

姜三へぎと云ふ俗語と記せり、諺の意を押して考るに、盈指生姜にておもうやうに物か、れぬ手のわろきなり、三へぎは音信なるべし、生姜は指の事よりいひ、三片はすこしばかりをいふ、心ざしは松の葉といへることく、生姜三片といひたることより、音信とりかはしもしたるもの歟、

〔多識編二〕山薑、今案伊奴波志加美、異名美草、

〔重修本草綱目啓蒙九〕山薑 ハナメウガハナメウガト云フ ハナヤリヤウキヤウ

漢渡ナシ、花戸ニ此草ヲ良薑ト呼ビ、藥舖ニコノ根ヲ良薑ト名テ貨ルモノハ、並ニ非ナリ、和州ノ

三輪、江州ノ三井寺山中ニ有リ、又紀州、豆州、勢州尤多シ、葉ノ形薑葉ニ似テ互生シ、毛茸多シ、夏莖

ノ高サ一尺許、梢ニ穂ヲ成シテ花ヲ開ク、色白クシテ紅斑アリ、形建蘭花ノ如ニシテ至テ小ナリ、

實ヲ結ブ、熟スレバ色赤ク、形圓長五分許、破レバ中ニ子アリ、コレヲ伊豆縮砂ト稱シテ偽リ貨ル、

子ノ形縮砂ニ似タルヲ以テナリ、黒手白手ノ二種アリ、節山薑實ナリ、此根細長シテ、淺茶褐色味

苦シテ臭氣アリ、渾テ良薑ノ氣味ニ非ズ、市人良薑ト呼者ハ非ナリ、

高良薑

〔多識編二〕高良薑、今案於保久禮、今俗誤爲伊豆縮砂、異名蠻薑、細目子名紅豆蔻、

〔重修本草綱目啓蒙九〕高良薑 クマタケランノ類 一名埋光烏藥 藥譜 萼花 八閩通志 比目連

理花 主會新篇 花一名豆蔻花 夢溪補筆談

略シテ良薑ト云、藥舖ニ舶來ノモノアリ、先年福州ヨリ種ヲ傳フルクマタケ蘭ト呼モノ、此類ナ

リ、ソノ草寒氣ヲ畏ル、故ニ冬月外ニ置ケバ腐リ易シ、屋内ニ入置ベシ、苗ノ高サ四五尺許、葉長サ

二尺餘、厚クシテ短毛アリ、薑葉ニ似テ光澤アリ、互生ス、切レバ樟腦ノ香アリ、當年出タル幹冬枯

レ、ザレバ、翌年六月ニ至リ、ソノ梢ニ花ヲ開ク、然ドモ多クハ冬ノ中ニ莖枯レヤスシ、ソノ花初出

ルトキ、葉ニテ卷ク、後ニ葉ヒラケバ、花ノ穂六七寸許、莖花トモニ白色ニシテ、光アリテ蠟花ノゴ

トシ、花ノ形鳳仙花ニ似タリ、而シテ鳳仙花ハ二瓣、コレハ一瓣ナレドモ、二瓣ナラビタル濶サナ